

Market Watching

発表日: 2020年11月9日(月)

市場にとって最良のシナリオとなる米選挙結果(マーケットウィークリー)
~トランプ大統領の大どんでん返しが現実味を帯びれば市場は混乱も~

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
取締役・首席エコノミスト 嶋峰 義清 (TEL: 03-5221-4521)

【先週の市場動向】

先週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	結果	コンセンサス	前回	備考
11月2日(月)	日本: 新車販売台数(10月)・乗用車	+34.5%	—	▲16.0%	前年比
	中国: 財新PMI製造業景気指数(10月)	53.6	52.8	53.0	ポイント
	米国: ISM製造業景気指数(10月)	59.3	55.6	55.4	ポイント
11月3日(火)	豪州: 金融政策委員会	0.10%	0.10%	0.25%	RBA政策金利誘導目標
	マレーシア: 金融政策委員会	1.75%	1.75%	1.75%	翌日物貸出金利
	米国: 自動車販売台数(10月)	1,621	1,645	1,630	万台
11月4日(水)	米国: ADP雇用統計(10月)	+365	+750	+749	前月差、千人
	米国: 貿易収支(9月)	▲639	▲696	▲671	億ドル
	米国: ISM非製造業景気指数(10月)	56.6	57.5	57.8	ポイント
11月5日(木)	ユーロ: 小売売上高(9月)	▲2.0%	▲1.5%	+4.4%	前月比
	英国: 金融政策決定会合 資産購入プログラム	0.10%	0.10%	0.10%	翌日物貸出金利 億ポンド
	米国: 新規失業保険申請件数(10/31終了週)	751	735	751	千件
	米国: FOMC・上限金利	0.25%	0.25%	0.25%	FF金利
	米国: FOMC・下限金利	0.00%	0.00%	0.00%	FF金利
11月6日(金)	日本: 毎月勤労統計(9月)・現金給与総額	▲0.9%	▲1.1%	▲1.3%	前年比
	日本: 家計調査(9月)・全世帯実質消費支出	▲10.2%	▲10.6%	▲6.9%	前年比
	米国: 雇用統計(10月)・非農業就業者数 ・失業率 ・時間あたり賃金	++638 6.9% +4.5%	+650 7.7% +4.5%	+661 7.9% +4.7%	前月差、千人 前年比
	中国: 貿易統計(10月)・輸出 ・輸入	+11.4% +4.7%	+8.0% +7.5%	+9.9% +13.2%	前年比 前年比
11月8日(日)	—	—	—	—	—



主要市場の動向

	直近値	変化			移動平均値		
		1週前比	1月前比	1年前比	25日	75日	200日
10年債利回り							
米国	0.819	▲5.5	+0.6	▲145.6	0.148	0.140	0.312
日本	0.015	▲2.5	▲2.0	+10.5	0.028	0.025	0.001
ドイツ	-0.621	+0.6	▲11.4	▲28.8	-0.587	-0.519	-0.478
豪州	0.753	▲7.5	▲13.1	▲51.8	0.807	0.853	0.889
株価							
NYダウ	28323.40	+6.9	+2.0	+3.0	27983	27761	26108
日経平均	24325.23	+5.9	+3.8	+4.4	23537	23196	21862
ユーロSTOXX50	3204.05	+8.3	▲0.9	▲13.1	3171	3239	3173
上海総合	3312.16	+2.7	+2.9	+11.2	3284	3308	3078
為替相場							
ドル/円	103.35	▲1.3	▲2.2	▲5.2	104.97	105.48	107.00
ユーロ/円	122.71	+0.6	▲1.0	+1.7	123.53	124.37	121.21
豪ドル/円	75.01	+2.0	▲0.0	▲0.0	74.88	75.75	72.84
ユーロ/ドル	1.1874	+1.9	+1.2	+7.3	1.177	1.179	1.133
商品市況							
WTI	37.14	+3.8	▲8.7	▲34.1	39.36	40.35	36.31
金	1951.7	+3.8	+2.7	+30.7	1904	1930	1781

(注) 10年債利回りの変化は金利差 (bp)。その他は変化率 (%)

為替相場の変化は、ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円は+が円安、▲が円高。

ユーロ/ドルは+がユーロ高、▲がユーロ安。

先週 (11/2~11/6) の金融市場は、米大統領選はバイデン民主党候補の勝利が確実視される一方、議会選挙では共和党が上院の過半数を制する公算が大きくなったことで、バイデン候補が大統領になったとしても、行き過ぎた歳出の拡大や増税は回避される可能性が高いとの見方が強まり、株高・債券高 (金利低下) ・ドル安の流れが強まった。

今週のマーケットは、事実上敗北が濃厚となったトランプ大統領の動向に市場の注目が集まる。確定はしていないものの、議会選挙では上院が共和党、下院が民主党を制するねじれ議会となる可能性が高まったことで、バイデン候補が主張する歳出拡大は抑制され、企業や富裕層への増税は回避されとの期待は市場に高まっている。これは株式市場にも債券市場にもプラス要因となる。一方で、トランプ大統領は敗北を認めず、最高裁までの争いも視野に入れている。最高裁判事は保守派が過半を占めており、仮に最高裁まで争うことになると、トランプ大統領に有利な判決が出ないとも言いきれない。また、法廷闘争などによって選挙人を12/8になっても確定できない場合、州議会の決定で選挙人が確定されることになる。この場合、州議会でも共和党が与党となっているウイスコンシンやミシガン、ジョージア州で、選挙結果がひっくり返り、トランプ大統領が当選する可能性がある。そのような事態となった場合、米国世論の対立はさらに激化し、議会の混乱も避けられないだろう。追加景気対策の議論もどこかへ吹き飛んでしまうリスクもある。一方、上院では1月に実施されるジョージア州の決選投票まで、過半数の議席が確定しないこととなり、民主党も強気の姿勢を崩していない。景気対策についても、共和党寄りの対策を安易には受け入れない可能性がある。米国内では、感染の第2波を上回る第3波に見舞われ、消費への悪影響が懸念されるだけに、景気対策の議論が進むかどうかは重要だ。

【今週のマーケット環境】

今週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	注目度	コンセンサス	前回	備考
11月9日(月)	日本：景気動向指数(9月)・CI一致指数 ・CI先行指数		+1.3pt +4.4pt	+0.9pt +1.7t	前月差 前月差
11月10日(火)	日本：国際収支統計(9月)・経常収支 日本：景気ウォッチャー調査(10月)・先行き判断DI 中国：消費者物価指数(10月) ドイツ：ZEW景況感調査(11月)・期待指数	★★ ★	+20,201 50.1 +0.8% +44.0	+21,028 48.3 +1.7% +56.1	億円、原数値 前年比 ポイント
11月11日(水)	NZ：金融政策委員会	★	0.25%	0.25%	オフイシャルキャッシュレート
11月12日(木)	日本：機械受注統計(9月)・船電除く民需 英国：実質GDP速報値(7-9月期) 英国：鉱工業生産(9月) ユーロ：鉱工業生産(9月) 米国：新規失業保険申請件数(11/7終了週) 米国：消費者物価指数(10月)・総合 ・コア メキシコ：金融政策決定会合	★★★ ★ ★ ★ ★★★ ★ ★ ★	▲12.0% +15.8% +0.8% +0.7% 730 +1.3% +1.7% 4.00%	▲15.2% ▲19.8% +0.3% +0.7% 751 +1.4% +1.7% 4.25%	前年比 前期比 前月比 前月比 千件 前年比 前年比 銀行翌日物金利
11月13日(金)	ユーロ：実質GDP改定値(7-9月期) 米国：ミシガン大学消費者信頼感指数(11月速報値)	★★★	+12.7% 82.0	+12.7% 81.8	前期比 ポイント
11月14日(土)	—				
11月15日(日)	—				

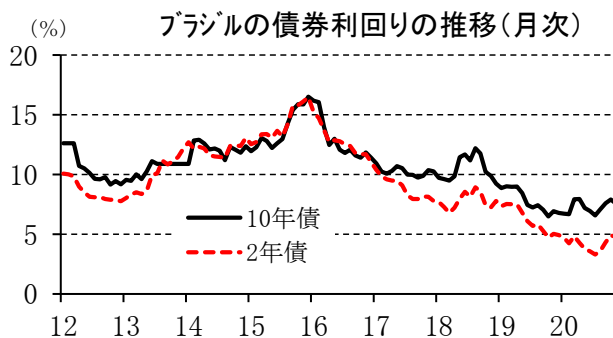
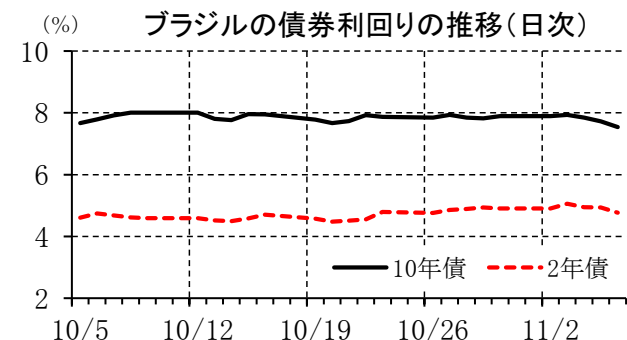
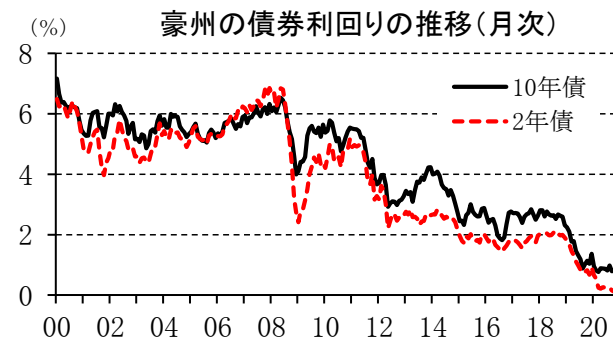
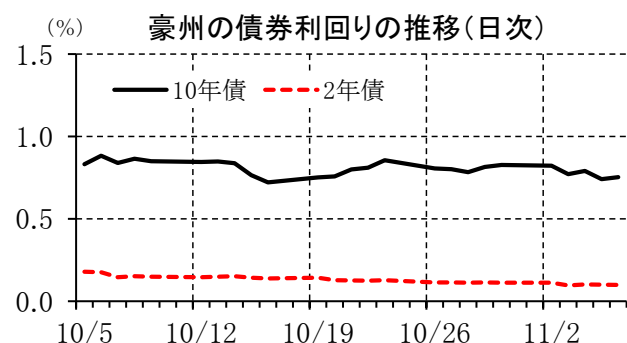
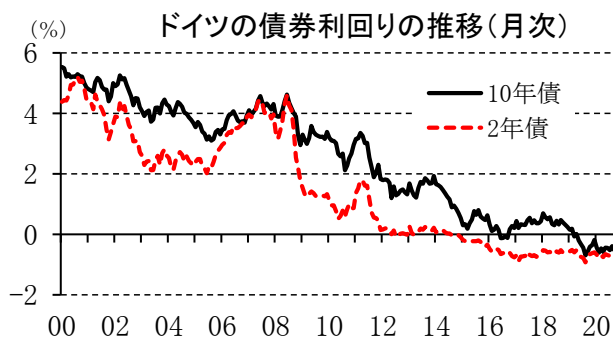
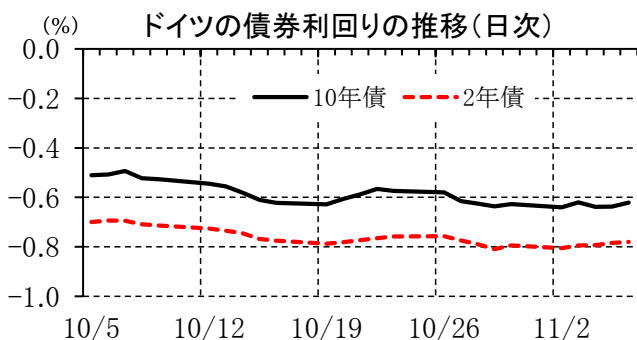
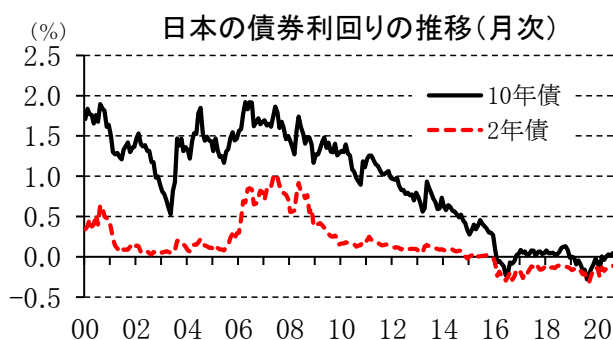
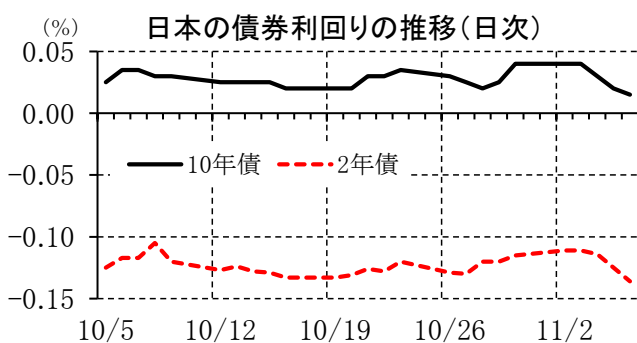
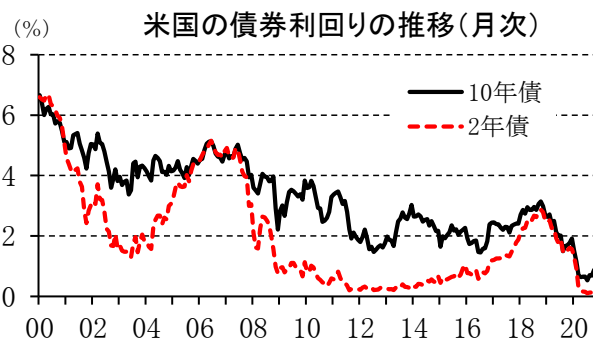
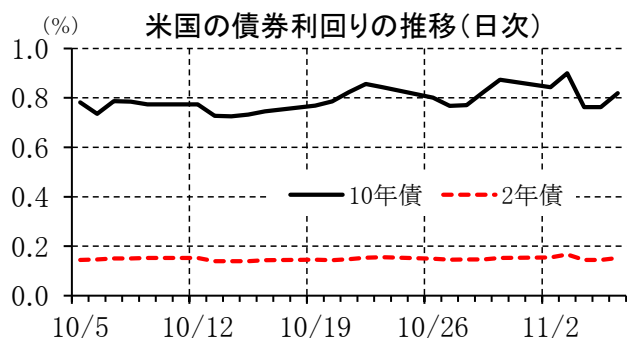
(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目度は筆者。

その他の注目イベント・材料

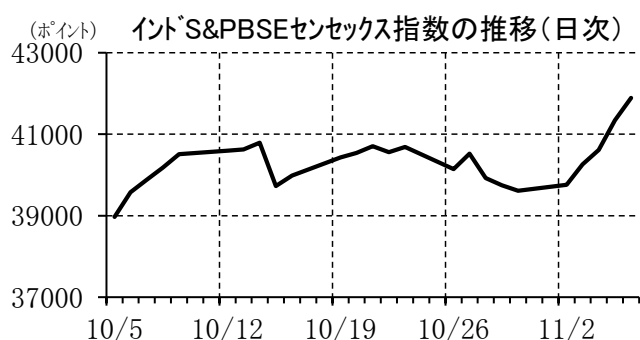
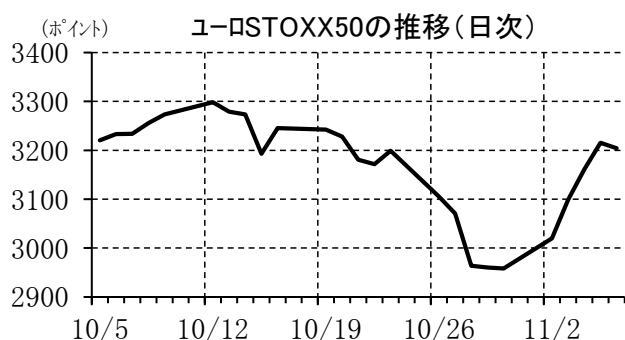
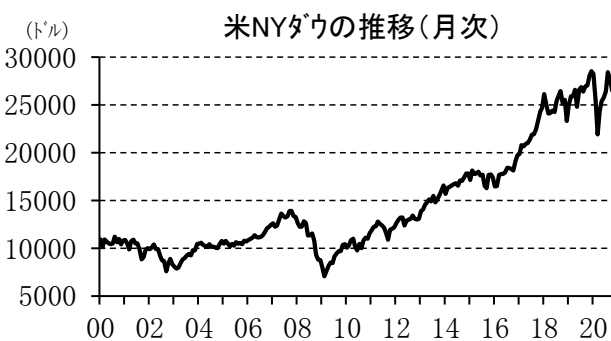
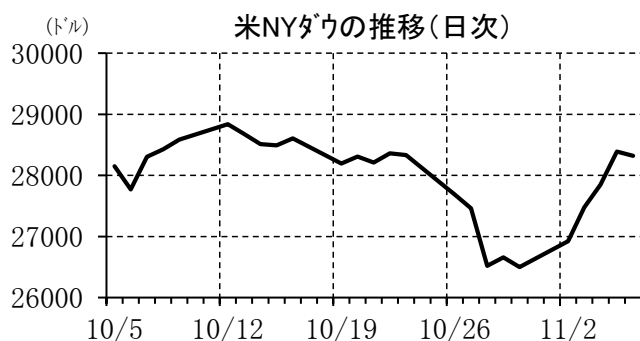
発表日	イベント	注目度	備考
11月9日(月)	日本：金融政策決定会合「主な意見」(10月分)	★	
11月10日(火)	米国：クォールズFRB副議長議会証言	★	
11月11日(水)	米国：債券市場休場 ユーロ：ラガルト ECB総裁講演	★★★	
11月12日(木)	日本：安達日銀審議委員講演 ECBフォーラム(ECB総裁・FRB議長・BOE総裁講演)	★★★	
11月13日(金)	—		
11月14日(土)	—		
11月15日(日)	—		

(注) 各種報道等による。注目度は筆者。

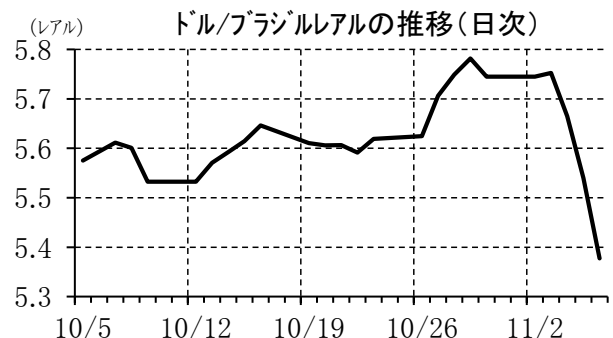
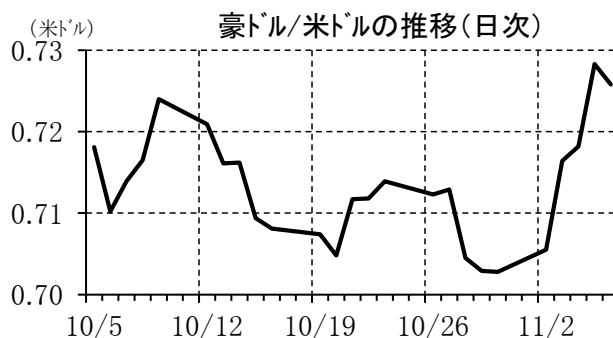
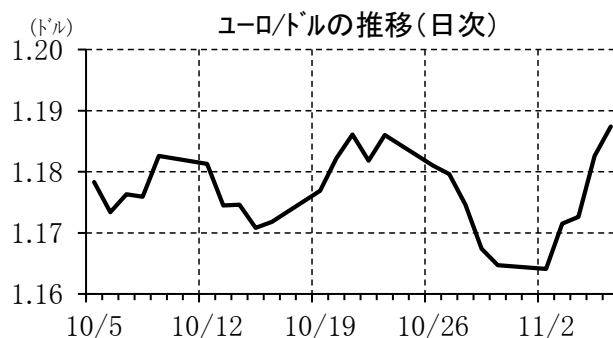
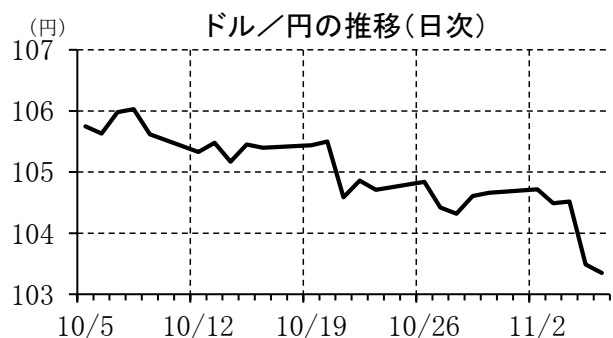
【債券利回り】



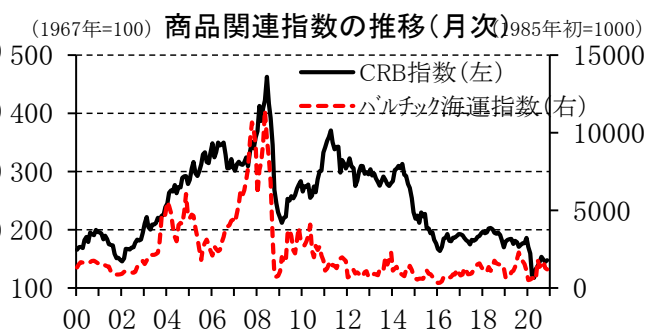
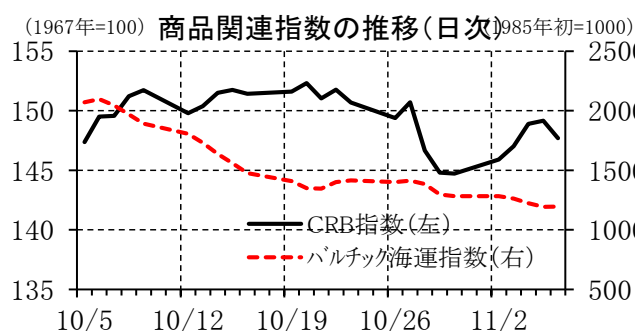
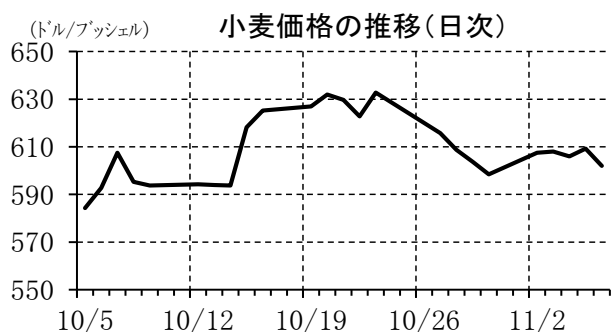
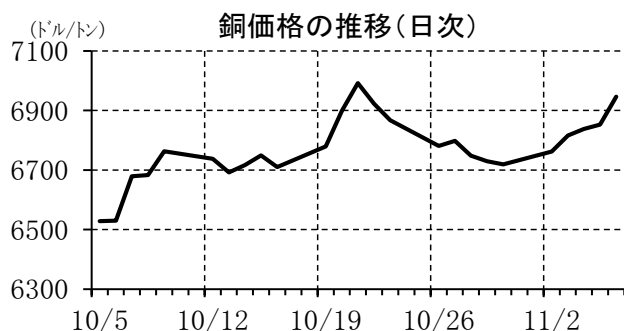
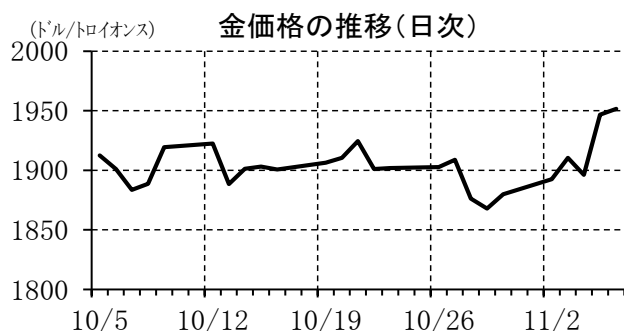
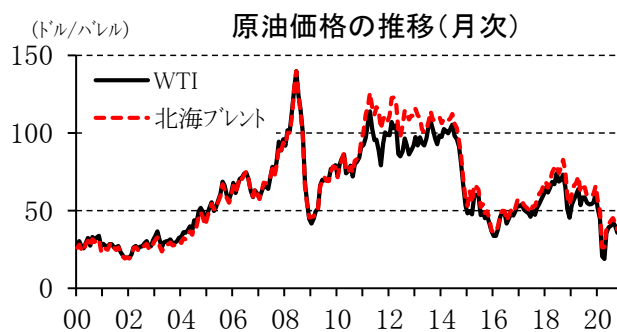
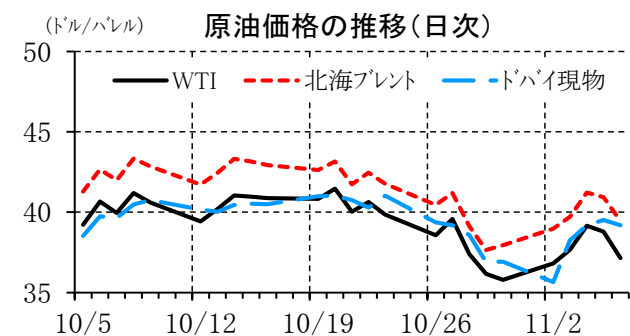
【株価指数】



【為替相場】



【商品市況】



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。